

エントリーNo 6

Q1.学習会のコンセプトについて記入してください。

- 学習会名称 (凹んじゃいけない～ブラック企業 24 時～)
- 主催者 (岐阜県労連青年部準備会)
- 対象者 (労働者 (組合員・非組合員問わず))
- 開催日 (2014 年 4 月 26 日 10 時～16 時30 分)
- 開催場所 (ハートフルスクエア G)
- なぜその学習会を企画したか

- ・ KEN'S CLUB (音楽と憲法を組合わせたイベント) を県労連青年部準備会でおこなって、その後第 2 弾をやろうという話になりました。日程的には次回は今年の 11 月頃、と考えその間時間があるので、なにか学習会のようなものができないかと KEN'S CLUB の実行委員の中で話しになりました。
- ・ 私たちは労働者なのに、自分にどんな権利があって、どのように使えばいいのかが分からない、という声が仲間からあり、権利を知る、学ぶという学習にしようということになりました。
- ・ ただ話を聞いて学ぶだけでは、知るだけで終わってしまう。この学習会に参加して、権利を使えるようになること、すぐにでも実践ができることを目的としました。
- ・ 最初は、リアル労働ゲーム (リアル脱出ゲームのイメージ) のようなものを考えていました。
- ・ 参加者にブラック企業に入社したつもりで、どんなときにどのように権利を使うかを実践することができれば、実際に同じようなことが起きたときに使うことができる、と考え、寸劇をしながら学習する形式にしました。
- ・ 「笑ってはいけない」というバラエティ番組の中に参加者が入り込む、というイメージです。

○企画するにあたって、運営で工夫した点は？

- ・ 自由な発言、自由な発想を大切にして、こうでなくてはいけないというルールを作りませんでした。例えば、最初はチラシだけだったのが、一人の実行委員が宣伝用に仮想の社内報を作ってきてくれました。
- ・ 一人の人に作業を任せるのではなく、いろんな人にやってもらうことをお願いしました。例えば、シナリオを考える必要があり、これについては、実行委員が一人一つ分野 (有給・労災・賠償予定の禁止・36 協定など) を担当し自由に考えてきてもらいました。
- ・ あくまでも、ブラック企業のイメージをくずさないように、いろんな細かい部分までこだわりました。例えば社訓を作ったり、商品を作ったりしました。
会議で次までにやってこよう！と言ったものができてなくても、その人を責めません。実行委員の中ではそのことは当たり前になっていて意識してやってはいないですが、できてなくてもフォローしあうようにしています。
- ・ 楽しくやりました。
- ・ 記者クラブへの要請をしました。
- ・ 長時間だったので、飽きてしまわないような内容にしました。

○苦労した点は？

- ・ 実行委員を増やすこと、参加者を増やすことが大変でした。実行委員もなかなか積極的に動くことができない部分もあります。Facebook でページを作り宣伝もしました。新歓時期でもあったので、新歓でも呼びかけました。呼びかける場所は多かったと思います。

Q2.参加者ついて記入してください。

○参加人数 目標（ 30 ）人 実際に参加した人数（ 20 ）人

○参加者からの感想は？

- ・ 普段なかなか学ぶ事のできないことで大変ためになった。参加してよかった。
- ・ 働いていて、気がついたら労働トラブルに巻き込まれている事のないようにするためにも学習を進めていきたいと思いました。
- ・ 実行委員たちの演技に熱が入っていて、イベントの世界に入り込む事ができた。

○どんな総括をしましたか？

- ・ いつもの参加者が多く、新たな人に来てもらえなかった。
- ・ この日 6 社の報道機関（岐阜新聞、中日新聞、朝日新聞、時事通信、NHK、赤旗）が取材に来た。岐阜新聞、中日新聞、朝日新聞、NHK、赤旗では取り上げてもらうことができたことは、時代に合った企画ができた。
- ・ 内容がいろいろありすぎて、もう少し絞ってもよかったのではないか。（例えば、有休だけ、とか）

○総括を踏まえて、次に活かそうと思う点など

- ・ 記者クラブへの要請は毎回してもいい。
- ・ 労働の学習会は、会社でのトラブルから身を守ることを知る意味でも、入社前の学生への呼びかけをしてみる必要がある。
- ・ どのような学習（内容）ニーズがあるのかを事前にリサーチしてみる。

○その他、学習会を行って気づいたこと

- ・ 報道機関の取材の多さに驚きました。ブラック企業という言葉がいかに社会で注目されているのかということがよく分かりました。
- ・

添付資料一写真、社内報風の開催案内チラシ、履歴書風参加申し込み用紙、報告



午前中の講義



寸劇風景



寸劇風景



主演女優賞、主演男優賞

たけによこによつきをつくり百年 愛と笑顔のまごころ商事

社内報まごころ

2014/4/15発行
第123456789号

発行元:まごころ広報部

入社式開催のお知らせ

【とき】 2014年4月26日
【ところ】 ハートフルスクエアG研修室30
【参加費】 1000円(昼食支給)

参加される方はお早めに
岐阜県労連まで・・・
TEL058-252-3013
FAX058-2534996



先月売り上げナンバーワン

【社訓】

- 1 笑顔あふれるまごころ商事
- 2 和が大事 会社の発展、また大事
- 3 先ず利潤 光り輝くハッピーライフ
- 4 今日も売りますたけによこによつき

高山支店 堀田竜也さん (37)

【たけによこによつきの売り上げ総数150個】

毎日、夜遅くまでお客さんに電話がけをして何とかノルマを達成する事ができました。僕が好きでやっているのも勿論、残業代は申請していませんよ。ノルマを達成させないと給料泥棒と同じですからね。あまり体調も良くなかったけど休めませんしね
堀田竜也談

たけによこによつきに2014年モデルが誕生

たけによこによつきシリーズの最新作!! 我社の専属デザイナーであるMASAMI・Hさん入魂の作!! 総制作費は2億円!! これでさらに売り上げアップ! 販売目標は全国1億個!! ただいまアニメ化の話やハリウッドからもオファーが来ています。今年の夏、世界全土でたけによこによつき旋風が吹き荒れます。



2014年4月26日(土)
凹んじゃいけないブラック企業24時
10:00~16:30
お申込はお早めに・・・

岐阜県労働組合総連合青年部

履歴書（参加申込書）

ふりがな	印
氏名	



ふりがな
所属団体

電話番号
携帯電話

【学歴】

2010 年 私立まごころ高等学校卒業
2010 年 私立まごころ大学入学
2014 年 私立まごころ大学卒業
(以上)

【職歴】

2014 年 株式会社まごころ商事入社
(以上)

【趣味・特技（自由記入欄）】

採用
--

【凹んじゃいけない！ブラック企業24時実行委員会】 岐阜県労働組合総連合

『凹んじゃいけないブラック企業 24 時』

会場；ハートフルスクエア研修室 30

10：00～16：30

参加者：25 名（実行委員含）

取材：岐阜新聞 中日新聞 朝日新聞 時事通信 NHK

10：00 主催者あいさつ（岐阜民医労廣瀬書記長）
～入社式～アイスブレイク（間違い探し&なんでもバスケット）
11：00～12：00 労働基準法講義（全労働加賀書記長）別紙資料
12：00～13：00 昼食休憩
13：00～16：00 シナリオ
16：00 表彰式
「主演男優賞 井上（岐阜こらぼ）」
「主演女優賞 花村純子」
「審査員特別賞 加古」
各種イベント告知～閉会あいさつ（堀田哲史）

昼から行なわれた寸劇による学習会では、面接から始まり、サービス残業、36 協定、休憩、就業規則、パワハラ、有休、退職勧奨、給料、賠償予定の禁止、育児休業、労働災害の順に演技し、1 テーマ終了ごとに問題点や対処法について講師の加賀さんよりレクチャーを受けました。

12 のシナリオには全参加者が新人社員として登場し、ブラック企業で起こりうる様々な労働問題に対応しました。また、この日最後のテーマであった労働災害のシナリオでは、パワハラ部長に権利や法律で対抗する参加者も登場しました。また、シナリオは実行委員でテーマごとに振り分け自身の体験などからオリジナルのシナリオを作成しました。

会場設営ではブラック企業の雰囲気演出するため、社訓を貼り出し、ホワイトボードに「ノルマ必達」「使えない社員はただの豚」「注文とるまで戻るな」の文字や営業成績表、机には電話や書類、パソコンを置くなど、セットにも力を入れました。また、「凹んじゃいけない」の舞台であるまごころ商事で販売しているという設定の商品「たけによこによつき」も実行委員の家族が手作りでぬいぐるみを作成しイベントを盛り上げました。※表彰者に贈呈

3 テーマごとに設けたトイレ休憩の直前に、午前中に受けた労基法講義の中から、罰ゲーム有のサブライズクイズを出題し、途中で飽きられることのないように実行委員会で工夫して進行しました。

【課題】

入社前に学習し、労働トラブルから身を守るためにも、ブラック企業を見分けるためにももっと学生に呼びかける必要があったのではないかと感じました。

いつもの参加者が多く、広く呼びかけることができていなかったのではないかと思います。

【参加者からの感想】

普段なかなか学ぶ事のできないことで大変ためになった。参加してよかった。

働いていて、気がついたら労働トラブルに巻き込まれている事のないようにするためにも学習を進めていきたいと思いました。

実行委員たちの演技に熱が入っていて、イベントの世界に入り込む事ができた。

【報道】

4/26 18：45 放送 NHK 東海3県ニュース

4/27 朝日新聞朝刊

4/28 岐阜新聞朝刊 中日新聞朝刊

4/29 しんぶん赤旗日刊紙

(督あかり)

大垣日大の種田真
も長良川球場で

ブラック企業 寸劇通じ知る

岐阜で勉強会

架空の「ブラック企業」に入社したという設定の寸劇を通して労働基準法を学ぶ勉強会「へこんじゃいけないブラック企業二十四時」が二十六日、岐阜市橋本町のハートフル



スクエア・Gであった
写真。

県労働組合総連合
(県労連)の組合員ら
十二人が参加。仕事で
ミスをする「いなく

なってくれ」と叱
られたり、有給休
暇を取らせてもら
えなかったりと、
会社の都合で従業
員が無理な要求を
される十二種類の
シナリオを交代で
演じた。

主催した県労連
の平野竜也事務局
長は「労働者が正当な
権利を行使できない状
況が広がっている。一
人一人が知識を得て、
働くルールをしっかり
守る社会にしたい」と
話した。(宇左美尚)

「ブラック企業」 寸劇で実態学ぶ

県労連



架空のブラック企業に入社し、違法な働き方を体験する中で労働法を学ぶ学習会が、岐阜市橋本町のハートフルスクエア―Gで開かれた。写真。

県労働組合総連合が主催。労働者の権利を正しく理解し、それぞれの職場環境を整えてもらおうと企画。参加

者は「まごころ商事」という架空の会社に入社し、さまざまな状況を寸劇で体験しながら労働法を学んだ。

学習会には、15人が参加。参加者は入社式と労働基準法などを学ぶ講義を受けた後、12種類の違法な働き方の寸劇を実演。会社が残業代を払わなくて済むよう、定時でタイムカードを切ってから残業をさせたり、休憩時間中に電話対応の仕事を与えたりするなどの寸劇を披露し、組合員が法律違反のポイントを説明した。

参加した愛知県瀬戸市の会社員堀之内翼さん(28)は「法律について勉強するいい機会になった」と話した。

(森川みどり)

対ブラック企業

寸劇通じ法勉強

ブラック企業に法律で立ち向かえ——。架空の企業を舞台にした寸劇を通して労働法などを学ぶ催しが26日、岐阜市であった。若者の雇用環境が厳しさを増しているとして、県労働組合総連合（県労連）が企画し、15人が参加した。

寸劇のシナリオは「残業」「パワハラ」「退職勧

奨」「労働災害」など計12種類。参加者が役者となって演じた。

「パワハラ」編では、会社の部長役の男性が迫真の演技で、「そんな仕事態度だったら、給料泥棒と一緒にだ。おれの言うことが聞けないなら、おれの前からいなくなってくれ」と部下役の男性を叱責しつせきした。講師を務めた男性は「仕事ができないことを叱責するのは良くない」と話した。